

「しあわせ」を実感できるまちへ

甲賀市長 岩永裕貴



甲賀市誕生以降のこの12年間において、本格的な人口減少社会が到来し、少子高齢化が進行しました。さらに、大規模な地震災害の発生やこれまでに経験したことのない異常気象による水害・土砂災害の恐れ、経済・社

会のグローバル化の進行など、本市を取り巻く情勢は大きく変化しました。このような大きな時代の転換期を迎える中、今後12年間にわたる「まちづくり」の新しい指針となる「第2次甲賀市総合計画」をこのたび策定しました。新しい「みんなの総合計画」を策定するにあたっては、これまでにない形での意見交換会や議会での熱心な議論、市民意識調査、総合計画審議会、パブリック・コメントなどを実施し、多くの皆様

の参画と協働のもとに、めざす未来像を検討してまいりました。もちろん、計画を策定するの目的ではありません。計画に掲げた施策を着実に実行し、成果につなげることで、市民一人ひとりが、「しあわせ」を実感できるまちづくりが必要です。市民、地域、事業者、関係団体、行政などさまざまな分野や立場の皆様が協力をいただきながら、それぞれの力を最大限に引き出す「オール甲賀」の取り組みを前進させてまいります。

3 まちづくりの大綱

甲賀市市民憲章の理念に基づき、12年間を通じたまちづくりの大きな方針となる5つの大綱です。

中山間地域を支える農家への支援を充実しなければ

甲賀市の誇り地、里山の農山村景観を守っているのは、兼業農家の皆さんです。「農業」で稼ぐことができるような支援やブランド化をさらに推進してほしい。



おかわらひさおつ 岡村久悦さん

人と文化を未来につなぐ

誰もが主役となり、持続可能なまちとなる

行動力のある民間のプレイヤーが増えしてほしい



滋賀銀行 水口支店長 田中伸幸さん

計画で重要なのは、まちづくりを進めるプレイヤーです。市民や各種団体、企業等、それぞれが役割分担し、理解しあうこと。そして、行動する人をみんなに支援したいです。

公共交通さえ何とかできれば

大好きなまちだけに、気になるのは公共交通です。JR草津線とコミュニティバスの利便性さえよくなれば、若者の定住やUターンも進むのでは。



かねまつ ゆり 兼松侑里さん

今ある資源を生かそう

恵まれた森林資源を生かす木質バイオマスの取り組みを進めるとともに、今ある空き家を「マインズの財産」ではなく、「プラスの財産」に転換できるように取り組みを進めなければ。



おおはらひさかず 大原久和さん

子育て・教育環境の充実

甲賀市として日本一になれる「何か」が必要。例えば、教育日本一とかが魅力的ですよ。



かわばた みあ 川端美愛さん

地域の「稼ぐ力」を高める

住み慣れた地域での暮らしを守る

結婚、出産、育児の希望に応える



子どもたちへ「ものづくり」を伝えよう

地域に根ざした「ものづくり」が甲賀市の特徴です。信楽焼やお茶などの地場産業への理解と魅力を伝えるキャリア教育が大切です。



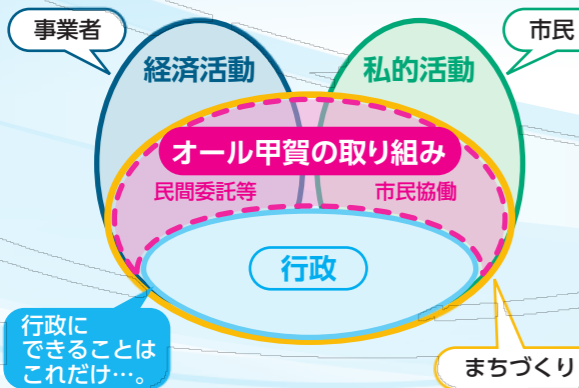
たにい ゆうこ 谷井祐子さん

オール甲賀の取り組み

基本計画では、平成32年度までの集中的な取り組みとして「オール甲賀で未来につなぐ！チャレンジプロジェクト」を定めています。

「オール甲賀」とは市民、地域コミュニティ（自治振興会、区・自治会）、市民活動団体、民間事業者（企業、農業者、金融機関など）の多くの皆さんに協力をいただき、市民の活力を最大限に活かすムーブメントのことです。ともに人口減少に立ち向かい、持続可能なまちづくりを進めましょう。

オール甲賀の取り組みの概念図



問合せ
TEL 69-2105
FAX 63-4554
政策推進課

▲▲ 総合計画審議会委員による市内視察